

開催概要

名 称	第 21 回 信濃川やすらぎ堤利用調整協議会
日 時	令和 4 年 9 月 5 日 (月) 午後 2 時 00 分～午後 5 時 00 分
場 所	第 1 部 生涯学習センター 405 講座室 第 2 部 信濃川やすらぎ堤
委 員	岩佐 明彦 (法政大学デザイン工学部 教授) 中村 美香 (特定非営利活動法人まちづくり学校 事業推進部 コーディネーター) (会長) 西垣 勝 (新潟日报社 企画総務局次長 兼 資産管理運営企画部長) 高松 智子 (ユニバーサルカラープランナー協会 会長) 高橋 邦夫 (特定非営利活動法人地域インフラ研究会 理事長) なぐも 友美 (きずなクリエイション にいがた観光カリスマ) 小沢 謙一 (新潟商工会議所 事業部長) 宮本 悠紀子 (新潟市中央区自治協議会 委員) 小川 純子 (国土交通省北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所 事務所長)
事 務 局	新潟市 (まちづくり推進課) 国土交通省北陸地方整備局 信濃川下流河川事務所
施設使用者	株式会社 スノーピーク
オブザーバー	鈴木 寿行 (ミズベリングやすらぎ堤研究会 代表)

議事内容**■第 1 部 (議題 1) 次期事業者選定に関わる事項について【資料 1-1、資料 1-2、資料 1-3】**

非公表

■第 2 部 (議題 2) ミズベリング信濃川やすらぎ堤の実施状況について (報告)【資料 2-1】

資料に基づき、(株)スノーピークより説明

委員からの主な意見は以下のとおり

- ・今後、利用者ニーズや右岸・左岸の利用実態等を報告してほしい。
- ・売上・利用件数について、曜日ごと、時間ごとなどに詳しく集計してほしい。
- ・注文方法から客席を利用するまでのルールが分かりにくく感じる。
- ・9月の販促に向けた取り組みも検討したほうがよい。

その他、自由意見

- ・やすらぎ堤左岸は、早朝 (6:00～) にランナーや散歩での利用者が多いことから、早朝利用をターゲットにすることで、新たな需要を見出せるかもしれない。(SP)
- ・店舗を出店していないやすらぎ堤右岸下流側では、学生など若者たちが芝生斜面で日常的に憩う姿が見られる。(SP)
- ・今後、雨天時の利用を促す方策としてテイクアウト・デリバリーの導入や、ミズベリングならではの名物となる飲食物などが生まれることを期待したい。(委員)
- ・今年度新たに開始したキッチンカーは、気候条件などから思うように実施件数、利用者数を伸ばすことが出来なかった。キッチンカー出店で安定的に営業するのは難しいエリアだと思われる。(SP)

■その他 情報提供

- ・大河津分水通水 100 周年・関屋分水通水 50 周年記念イベント
- ・萬代橋誕生祭

の開催について事務局から情報提供

会議資料

- ・ 資料 1-1 次期事業者選定にかかる協議会意見に対する回答事業報告資料 ※
- ・ 資料 1-2 公募型プロポーザル実施要領（案）※
- ・ 資料 1-3 今後のスケジュール ※
- ・ 資料 2-1 ミズベリングの実施状況について（SP）

※・・・非公表

議 事 要 旨